

各 位

会 社 名 株式会社トラス・オン・プロダクト
代 表 者 名 代表取締役社長兼 CEO 藤 吉 英 彦
(コード番号 6696 東証グロース)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 青 柳 貴 士
電 話 番 号 045-595-9966

(訂正・数値データ訂正)

「2023年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」の一部訂正について

当社は、2022年9月6日に公表しました「2023年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」につきまして、訂正がありましたので、お知らせいたします。また、数値データ（XBRL データ）にも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

1. 訂正の理由

2022年9月6日に公表しました「2023年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」の提出後に、記載内容の一部に訂正すべき事項があることが判明いたしましたので、訂正いたします。

2. 訂正の内容

(添付資料3ページ)

【訂正前】

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(3) キャッシュ・フローに関する説明

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動による資金の収入は、41,928千円となりました。これは主に、敷金の回収による収入 61,175千円等により資金が増加した一方で、敷金の差入による支出 16,800千円等により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動による資金の支出は、143,969千円となりました。これは主に、社債の発行による収入 143,037千円等により資金が増加したことによるものであります。

【訂正後】

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(3) キャッシュ・フローに関する説明

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動による資金の収入は、41,928千円となりました。これは主に、敷金の回収による収入 44,375千円等により資金が増加したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動による資金の収入は、143,969千円となりました。これは主に、社債の発行による収入 143,037千円等により資金が増加したことによるものであります。

(添付資料6 ページ)

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

	(単位：千円)	
	前第2四半期累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年7月31日)
(前略)		
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,996	△987
無形固定資産の取得による支出	△27,442	△1,028
定期預金の払戻による収入	100,000	-
関係会社株式の売却による収入	12,784	-
短期貸付金の回収による収入	18,000	-
長期前払費用の取得による支出	△716	△430
敷金の回収による収入	5,407	<u>61,175</u>
敷金の差入による支出	△518	<u>△16,800</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	103,518	41,928

(後略)

【訂正後】

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年7月31日)
(前略)		
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,996	△987
無形固定資産の取得による支出	△27,442	△1,028
定期預金の払戻による収入	100,000	-
関係会社株式の売却による収入	12,784	-
短期貸付金の回収による収入	18,000	-
長期前払費用の取得による支出	△716	△430
敷金の回収による収入	5,407	<u>44,375</u>
敷金の差入による支出	△518	<u>-</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	103,518	41,928

(後略)

以上